



# 学校だより

並四小ホームページ<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namiki4>

あいさつ運動「あいさつで 心豊かな 一日を」

7 月 号  
令和2年6月30日

並木第四小学校  
校長 清水 康男

## 全員登校再開

～新しい学校生活に向けて～

校長 清水 康男

夏至も過ぎて、昼間が短くなっていくことが実感できない中、校庭のアジサイが色鮮やかな大きな花を咲かせています。校舎の軒下にあるツバメの巣がいつの間にか留守になりました。分散登校の頃に、電線に止まって盛んに鳴いていましたが、いつの間にか巣立っていったようです。来年は、全校のみんなで巣立ちを見届けられる事でしょう。

分散登校が終了して全員の登校が始まりました。1年生は登下校時や授業中の楽しそうな様子からも、学校生活のサイクルが定着してきた感じが感じられます。そして、今月からは、初めての給食が始まります。また、通り過ぎる時にちょっぴり元気がなく聞こえてきた登校時の挨拶も、遠くから元気な声が聞こえるようになってきました。授業も休校前の状態に戻ってきています。子どもたちの笑顔も学校生活の色々な場面で増えてきたことから、みんなで登校できる日を待ち望んでいたことが強く感じられました。

梅雨の晴れ間、中休み時間が始まり、校庭からは、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。ベランダに出ると、こちらを向いて笑顔で手を振ってくれる子どもたち。こちらも満面の笑みで手を振り返します。校庭を元気に走る子どもたちの姿と元気な声がこれほど待ち遠しく、嬉しく思ったことはありません。

登校時の検温やマスクの着用、登校後や休み時間の手洗い等、感染予防のための様々な取り組みも定着し日常化されてきています。時差登校や休み時間の過ごし方の工夫などを見ていて、子どもたちの生活の変化に対する順応性に驚かされる場面も数多くあります。こうした子どもたちの学校生活の様子を見てみると、感染予防の基準を守りながら、子どもたちの笑顔のためにできる新しい活動の方法を考えていく必要性を感じました。特に6年生は、小学校生活最後の1年間で短くなってしまいました。この短い期間の中で、小学校生活の思い出が少しでも多く残せるよう、学校行事等にも工夫を凝らしながら、学校全体で応援していきたいと思います。

登校開始から一月が経ちました。分散登校や時間差の登校など、ご家庭に協力をお願いすることが多々ありましたが、いよいよ待ちに待った給食が始まります。先日お知らせしましたように、感染予防の観点からこれまでと違う準備を更にお願ひしました。学校でも安心安全な給食の提供のために、配膳の工夫や衛生面の確保に努めてまいります。どうぞご理解の上、ご協力をよろしくお願いいたします。

全員の登校が開始されてきたことを受けて、PTAの役員さんを始めとした活動が少しずつ動き出しました。限られた活動となりますが、教育活動へのご助力に感謝いたします。地域の皆様におかれましても、学校運営協議会を始めとした諸活動が、夏休み明けの状況を見ての実施となります事へのご理解をよろしくお願いいたします。

また、時差登校が続く中、梅雨空の下での見守り活動に感謝いたします。

～ お知らせ ～

- 例年行っていた7月の個人面談は行いません。なお9月以降、懇談会を予定しています。詳細は後日、お知らせいたします。
- 7月に行っている「学校に泊まろう」は、今年度中止いたします。